

サブサハラ・アフリカにおける産業発展の可能性

～ 日本の支援に対する期待 「カイゼン」を事例に ～

講師： 園部 哲史 氏 / 政策研究大学院大学 副学長

Vice President, National Graduate Institute for Policy Studies, GRIPS

日時： 2016年10月28日(金) 12時30分～14時(開場12時)

会場： FASiD セミナールーム 言語： 日本語

参加費： 500円(賛助会員 無料) 定員： 40名(先着順・要申込み)

今年度のBBLセミナーでは、第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)を踏まえ、様々な視点でのアフリカ支援、アフリカ開発に関するテーマを取り上げてきました。第218回では、ビジネスの市場や生産地としてアフリカの潜在性について、民間企業の取り組みをテーマとしました。第219回はTICAD VIの包括的な成果等を紹介・議論して参ります。

本状でご案内する第220回では、園部 哲史氏(政策研究大学院大学 副学長)をお招きし、TICAD VIでの優先テーマの一つにも取り上げられた、産業発展を通じた同地域の経済成長の可能性についてお話しいたします。

多くのサブサハラ・アフリカ諸国は、資源依存経済からの脱却を目指し、農業発展、市場経済化にむけて中小・零細企業育成による経済の多角化、産業化に高い意欲を示しています。他方、産業化に人材育成は不可欠ですが、同諸国の教育格差や貧困問題は依然深刻であり、アフリカの持続可能な発展を実現するための課題となっています。こうした現状において、日本が世界に広めてきた「5S」や「カイゼン」は、産業育成においてあらゆる人材を活用した「生産性向上」に貢献してきました。そうした事例紹介を交え、日本の開発援助がアフリカにおいて果たしてきた役割を再考し、今後の支援に対する期待や可能性について考察します。

【講師略歴】 園部 哲史 氏 (そのべ・てつし)

東京大学経済学部、1992年イェール大学博士(経済学)。研究対象：開発途上国における産業発展、汚職、貧困削減。2001年東京都立大学教授、2003年 国際開発高等教育機構 国際開発連携大学院(FASiD/GRIPS 共同プログラム)、2011年同プログラム・ディレクター、2003年～GRIPS 連携教授、2012年同教授、2014年より現職。Leader of Leadersを養成する、新しい人材育成モデル GRIPS Global Governance Program (G-cube) ディレクターも務める。

【開催案内・申込み・締切り】 http://www.fasid.or.jp/seminar_info/136_list_detail.html

10月26日(水)17時迄に、上記URL内オンライン・フォームよりお申し込み下さい。(定員になりしだい、締切らせて頂きます)

[*準備の関係で、手話通訳が必要な方は、オンライン・フォームに加えて下記事務局へ email により、締切り迄にその旨をお申込み下さい。] 昼食は、各自ご持参下さい。

Brown Bag Lunch Seminar 国際開発に関わるホット・イシューやこれまで注目を浴びてこなかった重要課題も取り上げ、援助の質の向上に向けてオープンな議論を行います。講師には国際開発の様々な分野で活躍されている研究者や実務者をお招きし、開発援助実務者、民間企業人、研究者、学生など幅広い立場の方々にご参加いただき、自由に意見交換する場を提供します。

一般財団法人国際開発機構(FASiD) 国際開発分野の高度な人材育成を行うために設立された、財団法人国際開発高等教育機構をその前身としています。1990年に経団連(現日本経済団体連合会)協力の下に設立(外務省・文部科学省共管)。公益法人改革に対応し、2012年現在の組織へ移行。人材育成事業、調査・研究、コンサルティング事業、奨学金(国内外における博士の学位取得支援)、セミナー等を行なっています。

主催・お問い合わせ先

一般財団法人 国際開発機構(FASiD) 国際開発研究センター 担当：服部 / 原田

〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 ミニック 39MTビル 6階 最寄駅：日比谷線神谷町、大江戸線赤羽橋

Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp

地図: http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml

Foundation for Advanced Studies on International Development